

## 9月3日（水）

きょうは、みんなが大好きな“カレー”についてのお話をします。

日本にカレーが伝わったのは、アメリカやヨーロッパの文化が、

<sup>せっきよくてき</sup>積極的に取り入れられていた<sup>めいじ</sup>明治時代のことです。その時に、イギリスからカレーが伝わりました。その頃の「<sup>せいようりょうりしなん</sup>西洋料理指南」という料理の本に、カレーの作り方が<sup>しょうかい</sup>紹介されています。しかし、今のカレーとは<sup>ちが</sup>違い、その時は、カエルの肉や長ねぎを使用して作っていたようです。その後、今のカレーの材料の<sup>ていばん</sup>定番である玉ねぎ・にんじん・じゃがいもが北海道を中心にたくさん作られるようになり、さらに日本で作った安いカレー<sup>こ</sup>粉が広がったため、<sup>たいしょう</sup>大正時代に今のようなカレーの<sup>もと</sup>元になる形ができました。

それでは、カレーについて<sup>くわ</sup>詳しくなったところで、きょうも、しっかりと残さずに食べましょう。